

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年2月20日

事業所名： なかよし学童くらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			・体操等ができるスペースを確保するとともに、個別スペースも確保している。	21	5		1	・送迎利用やコロナ過ということもあり事業所内の様子を十分に知ることはできていない。	・モニタリング時や参観日など事業所内の様子を見ていただける機会を作ります。
	2 職員の適切な配置	○			・基準以上に配置している。	23	2		2		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			・基本的なバリアフリーの設備は整っている。 ・ワークエリア、食事エリア、カームダウンエリアなど空間の構造化を行っている。 ・事業所内の掲示物も利用者向けと保護者向けでボードを分けるなど視覚的な構造化を行っている。	26	1				
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・新型コロナウイルス等の感染予防に努めている(アルコール消毒やエリア内での個別化など)。	25	2				・毎日室内の掃除と消毒を徹底しています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・月1回以上職員会を開催し、話し合いの機会を設けている。また、勤務の都合により、全職員が参加できる機会が限られているため、社内メール等を活用し、情報共有ができる体制を整えている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	・実施していない。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・月1回以上研修を実施している。 ・オンラインでの研修に積極的に参加している。 ・スーパーバイズを導入して取り組んでいる。						・法人内の研修に留まらず、様々な分野の研修にも積極的に参加するようにします。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見			
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			・保護者の方とのモニタリングをしっかりと行ない、保護者と子どものニーズを把握し、計画を作成している。				26	1			
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○							26	1		・いつも丁寧に聞いてくださり、しっかりと作成してもらっている。	今後も、保護者や子どものニーズをしっかりと把握し、今後の支援に生かしていきます。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○											
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			・計画について全職員が共有し、統一した支援を提供できるように努めている。				27				
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○			・職員で役割分担をしてプログラムの計画・実施を行っている。 ・基本プログラム（読み聞かせ、運動、音楽、工作、参加型ゲーム）以外にも、社会性スキル、eスポーツ活動、SDGs活動、交流活動、季節行事を計画・実施している。								
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			・一部のプログラムについては、小学生と中学生以上のプログラムの差別化を図っている。				21	5		・活動内容に新鮮さを感じない。	・職員間で話し合い、活動の見直しを図ります。また、活動内容の様子もブログなどで発信し、保護者の方には知っていただける機会を作ります。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			・学校休業日の活動の流れや活動のプログラムを放課後とは区別して組み立てている。								
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			・職員ミーティングを毎日実施し、当日の流れ（配慮事項を含む）や前日の振り返り（引継ぎ事項を含む）について共有している。								
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○											
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			・日々の記録の方法についても共有し、ケース会や担当者会で活用している。								
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			・年2回（6カ月に1回）実施している。									

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			・児童発達管理責任者及び担当職員が参加している。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				・該当なし						
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				・該当なし						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			・担当者会などの機会を活用して連携を図るようにしている。今後は、日常的に連携できる体制を構築していく。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			・保護者の同意を得て、必要に応じて情報共有を行っている。 ・同法人内の事業所については、連携体制の構築を図っている。					・共有した情報が活用できるものになってきたかの分析を行います。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			・コロナ過ということもあり、昨年と比較して連携の機会が減っている。 ・アンガーマネジメントの勉強会を実施した。					・コロナ過でも行なえる方法(オンラインなど)で連携を図ります。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	・コロナ過のため、実施できていない。	9	4	1	11	・週1回の利用のためあまりわかりません。	・行事や活動の様子などブログなどで発信し、保護者の方に知っていただける機会を作ります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○							

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			27					
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			26	1				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		21	2		4	・法人内の児童発達支援センターでのペアレント・トレーニングの実績を参考にし、まずは研修や勉強会に繋がるように工夫をしていきます。	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			27					
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			26	1				
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	16	3	1	7	・参加はできていないが、よく案内はしてもらっている。	・今年度はコロナ過で開催することができませんでしたが、勉強会など保護者同士で関わっていたような機会を作りたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			18	1		8	・苦情や意見は言いにくいので、アンケートのような形で希望や意見として定期的に尋ねてみてもよいのではないかと。送迎を利用して伝えると伝えにくいこともある。	・貴重なご意見ありがとうございます。アンケートについてはモニタリングの機会を活用するなど、職員間で話し合い前向きに検討します。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			23	3				
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			27				・法人機関紙を発行している。 ・事業所での様子はブログに掲載している、	・ブログの掲載回数を増やしていきます。また、ご家庭などでの支援の参考になる情報も発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			27					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	○				23	2		2		
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	○				25			2		・あらためて契約時およびモニタ リング等の面談時における説明 を徹底します。 ・避難訓練を実施した際はブログ にて発信するとともに、文章でも 周知を行います。
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確 保等の適切な対応	○									
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載				・該当者なし						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応		○								
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、毎 日の朝礼や毎月の職員会で共 有している。また、ヒヤリハットが 起こりそうな場面についても職員 間で共有し支援にあたっている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか					22	4		1	・利用日はいつも笑顔で、子どもも親も大変楽しみかつ安心して通所している。	・今後も子どもたちが楽しく安心して通える場所になるよう職員一同精進いたします。
	2 事業所の支援に満足しているか					24	3			・職員の方を信頼し、色々相談もできる環境であり、とても感謝している。 ・個別の支援に対しては満足。工夫して取り組んでいると思うが、上映会やゲームは家でも暇つぶしにさせていることだから、なるべく活動には入れてほしくない。	・ご意見を真摯に受け止め、職員間で話し合い、活動の幅を広げることができるようにします。また、今後も専門性を高め、より良い支援を目指します。